

## (様式8)

## 公共事業再評価調書

(再評価後5年の事業箇所)

評価確定日(平成16年6月29日)

事業コード	H16-建-再-1			区 分	国庫補助・ 県単独
事業名	都市計画事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	都市公園事業			課 室 班 名	都市計画課市街地整備・公園班(tel)2443
路線名等	秋田県立中央公園			担当課長名	本田 武志
箇所名	河辺郡雄和町椿川			担当者名	菅原 敏弘
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	1	施策名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	目標コード	4	施策目標名	潤い空間の創出	

## 1. 事業の概要

事業期間	S52~ H19(31年)	総事業費	206.0億円	国庫補助率	1/2、1/3	
事業規模	都市公園施設整備					
事業の立案に至る背景	秋田県立中央公園は、秋田空港を取り囲むように連なる丘陵地・広大な草原・良好な樹林地からなっている。空港の騒音緩衝地としながら自然の条件を生かし、広域的なレクリエーション、スポーツ、教育、散策及び休養の場所として計画されたものである。					
事業目的	秋田県立中央公園は、秋田空港を取り囲むように連なる丘陵地や広大な草原を有効に活用し、秋田空港の緩衝緑地帯としての緑地の確保を図りつつ、大規模なスポーツ大会から、県民の多様なレクリエーション活動に対応し、県民がいつでも気軽に利用できるような広域的、多目的に整備を進めてきているものである。また、平成19年開催の「秋田わか杉国体」に対応するため、陸上競技場やテニスコート等の利用が予定されている公園施設の改修についても本事業で実施中である。					
事業費内訳	(単位:千円)					
事業内容		計画時	再評価時	増減	理由等	
	事業費	16,200,000	20,600,000	4,400,000		
	経費内訳	工事費	14,913,000	19,330,000	4,417,000	国体関連改修費等追加による
		用補費	1,287,000	1,270,000	17,000	
		その他				
	財源内訳	国庫補助	5,592,000	7,800,000	2,208,000	
		県債	6,926,000	9,400,000	2,474,000	
		その他				
	一般財源	3,682,000	3,400,000	282,000		
	事業内容	都市公園施設整備	都市公園施設整備			
事業の経緯	昭和50年に都市計画決定し、昭和52年にファミリーレクリエーション、空港前庭ゾーンの都市計画公園事業認可を行い、工事に着手している。その他のゾーン(スポーツゾーン、青少年教育ゾーン、自然観察ゾーン)についても、それぞれ順次事業認可を行い、現在132.6haを整備済みである。					
進捗状況	整備面積(全体面積) 132.6ha(583.8ha) 整備面積/整備予定面積=132.6/133.8=99.1% ファミリーレクリエーション 16.2ha(95.3ha) 青少年教育ゾーン 51.0ha(72.9ha) 空港前庭ゾーン 4.2ha(84.1ha) 自然観察ゾーン 0.2ha(50.1ha) スポーツゾーン 61.0ha(138.4ha) 自然探勝ゾーン 0ha(143.0ha)					
長期継続の理由	公園面積が広大で事業規模が大きく、また、需要を考慮しつつ必要となる施設整備を進めているため、期間を要している。					
上位計画での位置付け	あきた21総合計画で、四季を通じて快適な生活環境の確保(潤い空間の創出)のため、県民一人当り公園面積の増加を目的としている。					
事業を取り巻く情勢の変化	平成19年に開催される「秋田わか杉国体」では開会式、閉会式及び、陸上競技場やテニスの競技会場として利用される予定である。					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 継続      改善      見直し      中止・終了
	指摘事項
	なし
	指摘事項への対応
	該当なし

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容
必 要 性	平成19年「秋田わか杉国体」開催のためには、関連する運動施設等の改修が不可欠である。また、陸上競技場においては、現在工事に着手済みで、部分的に旧施設が撤去済みとなっており、引き続き工事を進めて完成させる必要がある。
緊 急 性	平成19年開催の「秋田わか杉国体」の主要会場及び平成17年開催予定東北総体（ミニ国体）として利用されることから、早急に関連施設の整備を行う必要がある。
有 効 性	<p><b>【手段の妥当性】(代替案立案等の可能性)</b> 秋田県立中央公園は、広域的なレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、スポーツゾーンは全国規模の大会を開催することのできる唯一の施設である。国体開催に向けてコスト縮減を図りながら関連施設の改修を行っており、代替案立案の可能性は生じていない。</p> <p><b>【整備効果】</b> 需要を考慮しつつ必要な施設の整備を計画的に進めてきた結果、各施設の供用に対応した新規の利用が生じており、ここ10年は年間利用者数は50万人程度で推移している。</p> <p>スポーツゾーンについては、1種陸上競技場を始めとして、大規模な競技会に対応可能な運動施設を集中して設置しており、また、アリーナや屋根付きグラウンド等は天候に左右されず通年の利用が可能な施設であることから、スポーツ少年団活動、全国大会代表校の合宿、企業の運動会、ゲートボール大会など、様々なスポーツの場として利用されており、本県のスポーツ振興に果たしている役割は極めて大きい。</p>
効 率 性	<p><b>【費用対効果】</b> <math>B / C = 780.3 / 512.9 = 1.52</math> 効果B=780.3億円      費用C=512.9億円</p> <p><b>【コスト縮減の取組状況】</b> 再生材料や二次製品等の使用などにより、コスト縮減を図りながら事業の進捗を図る。</p>
熟 度	<p><b>【地域の状況】</b> 平成19年度開催の「秋田わか杉国体」の主要会場として利用されることから、関連施設の整備が強く求められている。</p> <p><b>【事業進捗の見込み】</b> テニスコートと投てき場は、平成14年度末に改修済みであり、陸上競技場は、平成17年開催予定の東北総体（ミニ国体）にあわせて平成16年度内に完成する予定である。また、平成17年度に公園入口部の園路広場の改修をもってスポーツゾーンを完成し、「秋田わか杉国体」に備えるとともに、事業期間である平成19年度までに、自然観察ゾーンの整備を行う予定である。</p> <p><b>【環境対策】</b> 自然地形を利用した造成や、自然植栽の活用など、従来の自然に配慮しながら整備を進めている。</p>
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続      中止 <p>計画通り、平成17年度までにスポーツゾーンの運動施設の改修を完成させ、事業期間内の平成19年度までに自然観察ゾーンの整備を図る。</p>

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針及びその理由）

事業を継続し、平成19年国体までの完成を図る。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

公共事業評価(箇所評価) 評価基準

評価種別 新規箇所 ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 再 - 1) 箇所名 ( 秋田県立中央公園 )

適用事業名 都市公園事業

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	都市公園の充足度				
	一人当たりの都市公園面積 (県全体、都市計画区域)	10㎡/人未満	9	6	1,257.69*10,000/820,882=15.3 秋田の都市計画より
		10~20㎡/人未満	6		
		20㎡/人以上	3		
	公園の規模・配置				
	公園の計画面積	100ha以上	8	8	583.8ha
		50~100ha未満	5		
		10~50ha未満	3		
	既存広域公園からの距離	40km以上	8	5	小泉湯公園約30km
		20~40km未満	5		
10~20km未満		2			
計		25	19		
緊急性	上位計画				
	県の総合計画への位置付け	実施計画期間内の完了	5	5	~H19
		実施計画期間内の実施・促進	3		
		実施計画期間以後の実施	1		
	他の計画での位置付け(計画数) ・都市計画マスタープラン・緑の基本計画 ・県広域緑地計画・その他( )	3計画以上	5	3	
		2計画	3		
		1計画	1		
	関連行事(予定されるイベント等)				
	重要度(規模) ・イベント名( 秋田わか杉国体 )	国際大会、全国対象	5	5	
		東北対象	3		
全県対象		1			
実施(開催時期)	5年以内(定期的な開催含む)	5	5	H19	
	10年以内	3			
	11年以内	1			
計		20	18		
有効性	環境対策				
	環境保全(対象の重要度)	貴重な動植物、景観(条例等)	5	3	上記以外の対象を( )に記載
		良好な自然環境、景観	3		
		その他( )	1		
	緑化推進(緑化整備計画面積)	10ha以上	5	5	133.8ha
		5~10ha未満	3		
		1~5ha未満	1		
	利便性、多様性				
	交通拠点からの所要時間 (高速道路IC、鉄道駅、空港)	10分以内	5	5	秋田空港
		11~30分以内	3		
31~60分未満		1			
公園施設の種類の	10種類以上	5	5		
	6~9種類	3			
	3~5種類	1			
計		20	18		
効率性	事業費、財源等				
	費用対効果(B/C)	1.30以上	5	5	1.52
		1.15~1.30未満	3		
		1.01~1.15未満	1		
	財源対応	国庫補助採択済	5	5	
		国庫補助採択予定	3		
		単独事業(県債充当)	1		
	コスト縮減(該当項目数) 建設副産物活用・新工法採用 ・借地、占用対応・その他(二次製品の使用)	3項目以上	5	3	
		2項目	3		
		1項目	1		
他事業との関係					
関連施設整備事業等 ・事業名( 高速道路整備 )	関連事業実施中(済)	5	5		
	関連事業実施予定(5年以内)	3			
	関連事業実施予定(10年以内)	1			
計		20	18		

公共事業評価(箇所評価) 評価基準

評価種別 新規箇所 ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 再 - 1) 箇所名 ( 秋田県立中央公園 )

適用事業名 都市公園事業

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
熟度	進捗状況	事業用地取得状況	取得完了(取得不要)	10	10	
			一部取得(工事着手)	7		
			一部取得(工事未着手)	3		
	手続きの状況		供用開始済施設あり	5	5	
			都市計画事業認可済	3		
			都市計画決定済	1		
		計		15	15	
	合計		100	88		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	88	
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		